

病気の説明

最初、胃の付近の痛みやはきけで始まる。



その後下痢が始まる。はきけは24時間以内に軽くなる。



という経過は、ウイルスによる胃腸炎の典型です。
(食あたりではなく、普通の胃腸炎を考えます。)

<治療>

・ウイルスによる胃腸炎は抗生剤が効きません。水分補給をごまめにしてください。こどもははいても、少しずつ飲ませてください。こどもで、はきけが強いときは、五苓散（ごれいさんという漢方薬）をお湯でとかして、おしりからいれることがあります。脱水が疑われるときは、点滴を行うか、ほかの病院に入院をお願いします。

次のような場合は要注意です。

1. 24時間以上続くはきけ
2. 下痢のない胃腸炎
3. 頻回の下痢ではない胃腸炎
4. 腹痛のない胃腸炎

胃腸炎と間違えやすい病気

1. 虫垂炎（盲腸のこと）・・・胃の付近から右下に移動する腹痛が特徴
2. 心筋梗塞・・・腹痛で、はきけがつよいこともある。
3. 糖尿病の発作（ケトアシドーシスという）・・・腹痛と吐き気が強い。
4. 脳梗塞・・・高齢者ではきけが目立つ時は注意。下痢はない。
5. 消化管出血・・・黒い便が出る。

急性胃腸炎
嘔吐下痢症